

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝えて活かすグルメ食暦(しょくごよみ)事業
事業主体 (連絡先)	生坂村役場振興課 0263-69-3112
事業区分	(8) 地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	651,321円 (うち支援金: 487,000円)

事業内容

- 行事暦に基づいた伝統食や行事食、郷土食の冊子850部を平成28年2月に発行し、村や日本の食文化の良さに触れてもらうため742部を全戸に配布した。残り108部は小中学校教材用や料理講習時に利用してもらい、村内の女性団体が毎年行っているイベント(女・人輝きくらぶ主催の一日だけの生坂食堂)に於いて、村外からの来場者に配布し、村の郷土食や伝統食のPRを行った。
- 生坂村の食文化を残し伝えるために、高齢者から風習や伝統食、行事食、郷土食の聞き取りを行った。
- 冊子に載せる料理や食材の効用を、村の管理栄養士と連携を取りながら、試作と写真撮影及びレシピ作りを8回行った。
- ・小学生や男性、各種団体、都市の消費者等を対象に、郷土食や伝統食の講習会を4回開催し、冊子の内容の啓発を行った。
・村内女性団体「女・人輝きくらぶ」が行ったイベント「一日だけの生坂食堂」(村内外者を対象としたバイキング形式の食堂)で冊子に掲載されている料理を取り上げ、メニューとして使うと共に、開催セレモニーで冊子の紹介を行い希望者に冊子90部を無料配布した。
- 女性団体との打ち合わせ会議3回と冊子の編集及び添削作業3回の実施



【レシピ作りのための試作会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 村の食文化を保存伝承し、継続して啓発するための冊子850部を発行した。
このことは、来年度以降住民間の会話のきっかけになり、村民間の絆作りにつながっていく。また子供達等の教材として利用することが出来、村や日本の食文化の良さを再認識される事が期待できる。
- 手間のかかりがちな伝統食や行事食、郷土食が冊子になり、解りやすくなった。
また昔からの食文化を暦として整理し、昔の良き文化を保存した。
- 冊子作りに携った女性団体は、打ち合わせ会など集まる機会が増え、交流の場の提供になった。

【目標・ねらい】

- 食に関連した行事などを暦にして整理し、それに伴う行事食や伝統食、郷土食を冊子にして保存する。
- 長く活用してもらうため、子供たちや各種グループ員を対象に、冊子に掲載予定の料理講習会や試食会等を通して啓発活動を行う。
- 村内の女性団体と行う協働事業とし女性団体や村の活性化につなげる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・料理講習会等で冊子を活用していく。
- ・学校のクラブ活動等での冊子を使った活用を呼びかける。
- ・都市住民を対象とした農業体験ツアー等で、村の郷土食や食文化の紹介や体験を随時実施していく。

※自己評価【 B 】

【理由】

村の食文化や風習、行事等を活字にして残すことが出来、今、増加傾向にある村外からの移住者や子供を含む若い世代の人達に、伝える手段としての冊子を完成した。